

1944 年、軍部に揉み消された^{とうなんかいじしん}東南海地震

- 東日本大震災のとき、どこに誰といいましたか。

外から戻り、忘れないうちにと買物の記帳をして、さてお茶でもと思った時に強いゆれを感じ、椅子からすべり落ちました。私は、1944 年 12 月 7 日の東南海地震を経験して以来、地震となると、血圧が下がり、気分が悪くなります。いわゆる腰がぬけるということでしょう。

2011 年 3 月 11 日は、自宅では特別の被害もなく、私がだらしなくつつこんでおいた紙類が散らばったくらい。しばらくして、近所のマンションに住む姪が、「かけても、かけても、電話が通じない」とかけつけて来ました。私は都内のマンションの 4 階に、弟夫婦は 1 階に、もう 1 人の姪一家が 2 階に住んでいます。

- 東南海地震とは？ ご体験を話してください。

今年初めてその名称やマグニチュード 8 などを知った「東南海地震」。戦時中で全く発表はなかったのです。13 時 35 分に紀伊半島東沖で発生。愛知、三重、静岡県に甚大な被害をもたらし、死者不明者は 1,223 人まで数えられています。津では震度 6。当時、私は女学校二年生(中 2)。三重県の津市に祖母、母、弟(小学 6 年)、妹(1 歳)と住み、父と姉は東京におりました。

私はその日、動員中で、海軍軍司令部の 2 階の建物にいて大地震を経験しました。(動員というのは、軍部の司令で女学生や中学生が学校へ行く代わりに工場や海軍・陸軍などに行って働いたのです。) そのとき、軍人さんの命令で、外へ脱出した途端に、今までいた建物は崩れ、目前に並ぶ家はつぎつぎとつぶれ、一瞬の間に地割れし、川の水が溢れるのを見ました。その日はどのように帰宅したか、何も覚えておりません。

- その後の地震のご経験は？

阪神大震災後に親戚の見舞いに行きました。また、講演に行った新潟で地震に遭うなど、何度か地震を経験しました。以来、棚はすべてドアをつけること、本棚に幅広のテープを張ること(本は出しにくい)など、耐震対策は少しずつして来ました。そのおかげで、今回の地震のためには役立ち、被害なしで済みました。

フード・ドクター 80 歳 中野区在住
2011 年 8 月 24 日